

第108期 「営業のご報告」

2023年4月1日～2024年3月31日

ミニディスクロージャー誌



第32回 りゅうぎん紅型デザインコンテスト [一般枠] 奨励賞「アマミキヨヌ邦」 佐喜真 沙更 作

 琉球銀行



古紙配合率80%再生紙を使用しています

PROFILE 当行の概要

2024年3月31日現在



設 立	1948年5月1日(昭和23年5月1日)
資 本 金	569億67百万円
本店所在地 (登記上の住所)	〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地1丁目11番1号
一時移転先 住 所 (2020年12月14日～)	〒900-0034 沖縄県那覇市東町2番1号 TEL.098-866-1212(大代表)
店 舗 数	75カ店
従 業 員 数	1,381名
株 主 数	15,391名
格 付	株式会社格付投資情報センター: A+ 株式会社日本格付研究所: A+

INDEX 目次

ごあいさつ	2
営業の概況	3
決算の概要(連結・単体)／	
顧客向けサービス利益(単体)／預金等(単体)／	
貸出金(単体)／役務利益(単体)／	
開示債権(単体)／自己資本比率(単体)	
トピックス	5
サステナビリティへの取り組み	6
第108期 単体財務諸表	8
貸借対照表／損益計算書	
第108期 連結財務諸表	9
連結貸借対照表／連結損益計算書／	
連結包括利益計算書	
取締役・監査役 株式会社のご案内	10



取締役頭取

島 茂 健

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

ここに、第108期(2023年4月1日～2024年3月31日)の営業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。

金融経済環境

2023年度の国内経済は、2023年春闘で約30年ぶりの高水準の質上げが実現したことや、5月に新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが5類に移行されたことから、消費関連は回復の動きが鮮明となりました。企業収益は増収となり、設備投資の動きも活発化しました。政府は5月の月例経済報告から「国内景気は緩やかに回復している」との判断を示しています。また、2024年春闘の平均賃上げ率が33年ぶりの高さとなり、賃金と物価がそろって上がる好循環が始まったとして、2024年3月に日本銀行はマイナス金利政策を解除しました。

沖縄県経済は、年間を通して物価高がみられるも、新型コロナウイルスの影響が大幅に和らいだことを背景に人々の外出や集まる機会が増えたことから消費マインドが高まり、消費関連は回復の動きが強まりました。建設関連は、マンションやホテルに加えて貸家などの民間投資が活発となり、回復の動きが強まりました。観光関連は、旅行需要が旺盛となり国内観光客は2019年を上回る水準まで回復し、外国人観光客も戻り始めたことから、緩やかに拡大する動きがみられました。この結果、県経済全体としても緩やかに拡大する動きがみられました。

事業の経過および成果

中期経営計画「Value 2023」の初年度となった2023年度は、長期ビジョン「地域経済の好循環サイクルの実現し、地域とともに成長する金融グループ」を掲げ、企業価値・環境価値・社会価値を向上させ地域・お客さまの課題解決に貢献すべく、3つの基本戦略をもとに様々な取り組みを推し進めてまいりました。

(1) 基本戦略1 事業基盤の拡大(ソリューション)

重点ビジネスが好調に推移し、着実に成果を上げております。特に法人コンサルティング業務では、高級ホテルブランド「フォーシーズンズ」と北部のテーマパーク「ジャングルリア」の2件の大型シグニチャーローンのアレンジを成功させております。また、キャッシュレス事業では、沖縄本島や八重山エリアの公共交通機関において、タッチ決済対応のカード等による乗車・乗船サービスを提供するなど、沖縄県内のキャッシュレス化の取り組みを加速させてまいりました。個人コンサルティング業務では、相続コンサルティング分野で、全国の地方銀行の中においても高いレベルでのサービス提供が可能となってきました。

(2) 基本戦略2 ESG経営の実践(サステナビリティ)

ESG関連では、全国の銀行で初めて「J-クレジット運営管理業務」を開始いたしました。当行のZEH専用住宅ローン利用者より提供いただいた環境価値をさらに沖縄県の環境活動等に活用いたします。また、省エネ住宅などの普及を目的とした地域連携「ZEP-Ryukyuu」への取り組みやサステナブルファイナンスの提供、営業店のZEB化等の取り組みが評価され、国際的環境評価機関CDPIにおいて、上位から2番目の「A-」評価に認定されました。くわえて3月には、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)が提唱する「PRB(責任銀行原則)」に署名するとともに、「りゅうぎんカーポニューラル宣言」を発表いたしました。これらを通じて、持続可能な開発に向けた取り組みを一層強化してまいります。

(3) 基本戦略3 変革への挑戦(トランスフォーメーション)

デジタルツールの一つであるりゅうぎんアプリの機能改修や拡充を実施し、足元では15万人のお客さまにご登録いただいております。アプリによる非対面取引

の拡充は、営業店の業務削減およびお客さまと向き合う時間の確保につながり、多様化するニーズに対応した質の高いサービスを提供することが可能となりました。また、年間で計36人を長期の研修・出向で外部の金融機関等に派遣するなど、専門人材育成にも注力いたしました。

当行が対処すべき課題

足元で回復していくとみられている沖縄県経済の中において、当行ではこうした変化の時代を好機ととらえ、県内企業の成長に結びつく取り組みを強化していく必要があると考えております。また、今後到来する金利ある世界では、経営戦略次第で金利上昇がプラスにもマイナスにも働くこととなります。金利上昇局面において収益の極大化を図っていくためには、総合的に資産・負債を管理する手法としてのALM態勢の見直しが重要と認識しております。また、気候変動対策等地域社会の課題への貢献を志向するESG経営が世界的な潮流となっており、ESGを意識した企業活動が求められるだけでなく、企業の社会的評価にも直結するようになってきていることから、企業戦略に欠かせないものとなっております。このような環境下、当行は長期ビジョンの実現に向けてESG経営を実践し、事業基盤の拡大と変革への挑戦によって、地域の稼ぐ力を伸ばすことを目指した取り組みを強化してまいります。

(1) 金利ある世界への取り組み

引き続き伝統的銀行業務(預金・融資・有価証券)のステージアップを推し進めてまいります。お客さまとの深度ある対話を通じて事業先の業況や課題を把握し、お客さまの理解を得ながら融資を軸としたコンサルティング提案活動を実施し、長期的な信頼関係を築いてまいります。有価証券の運用では、市場金利の上昇により収益の拡大が見込まれることから、運用を積極的に展開していく予定であり、円債投資を中心にリスクリターンを踏まえて中長期的な視点に立ち、安定的な期間収益確保を目指してまいります。

(2) ソリューションビジネスの深化・進化

個人・法人コンサルティング業務では、お客さまと向き合う時間を創出し、面談活動を通じてお客さまの目標(ゴール)を確認し、「お客さま視点」で最適・最善な提案を積み重ねていくことでより一層の信頼を得られるよう、ビジネスの深化に努めてまいります。また、キャッシュレス事業の成長策として、「POSレジ事業者との連携」など他社との協業による様々な展開を計画しており、加盟店企業の利便性向上と県内加盟店の拡充を図る等、ビジネスをさらに進化させてまいります。

(3) 人の資本経営

複雑化・高度化する地域の課題解決に貢献するために、多様な人材が活躍できる環境を整備してまいります。役職員のキャリア形成意欲を後押しするために、年代に関係なく主体的・自律的に学ぶことができるよう制度の充実を図ってまいります。あわせて、役職員の有するスキルや経験を把握し、経営戦略と連動した人材の採用・育成、適切な人材配置を行うことで人材ポートフォリオを構築するとともに、役職員の働きがい向上と働きやすき環境を整備してまいります。

(4) ESG経営の実践

「地域の脱炭素化支援」の取り組みをこれまで以上に進化させてまいります。ZEP-RyukyuuでのZEH関連セミナー等を通じて県内建設事業者の技術力向上等に寄与するとともに、ZEH専用住宅ローンの提供を通じて県内のZEH普及に貢献してまいります。また、県内事業者に対しては、SDGs診断ツールを活用することで各社の課題を洗い出し、サステナブル投融資の実行により課題解決の後押しを図ってまいります。これらの取り組みを含め、PRBの署名行としてESGへのインパクトを重視した取り組みを重ねながら、沖縄の社会課題解決に挑戦してまいります。

このような取り組みを通じて、今後も沖縄県内の各地域とのお客さまの多様なニーズにお応えする魅力ある商品、サービスを提供するとともに、地域が抱える課題の解決やお客さまの目標の実現をお手伝いするパートナーとして、お客さま、地域、そして当行グループの成長を目指してまいります。

営業の概況

決算の概要(連結・単体)

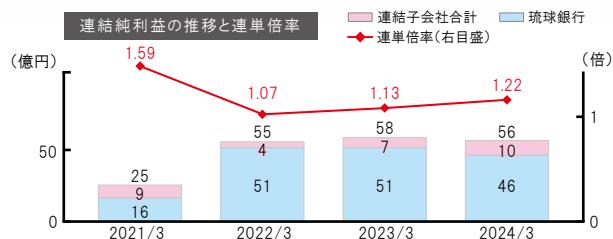
■ 連結・単体ともに増収減益。

(億円)

連 結	2024年3月期		琉球銀行	琉球リース	リウコム	OCS	りゆうぎん ディーシー	りゆうぎん 保証
		前期比						
経 常 収 益	659	+58	431	171	35	19	18	6
経 常 利 益	84	▲0	68	5	1	0	3	5
親会社株主に帰属する 当期純利益	56	▲2	46	3	1	0	2	3

(億円)

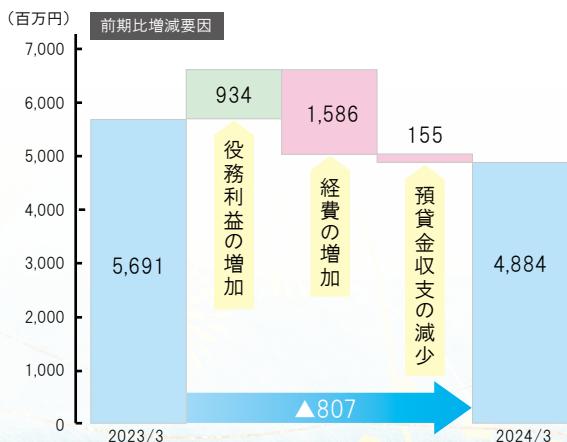
単 体	2024年3月期		2023年3月期
		前期比	
経 常 収 益	431	+23	407
経 常 利 益	68	▲3	72
当 期 純 利 益	46	▲5	51



顧客向けサービス利益(単体)

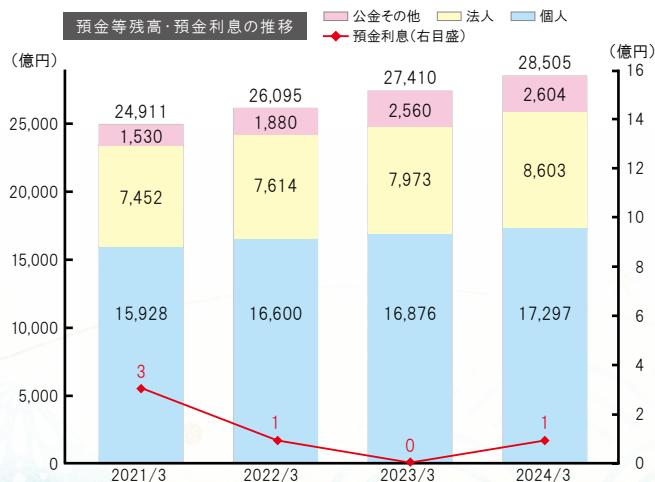
■ 役務利益が増加した一方、経費の増加および預貸金収支の減少により、顧客向けサービス利益は減少。

※ 預貸金収支はローン関係手数料を含めており、地銀協団信保険料の返戻がなかったことが主因で減少となった。ローン関係手数料を除いた場合、預貸金収支は前年比113百万円の増加となる。



預金等(単体)

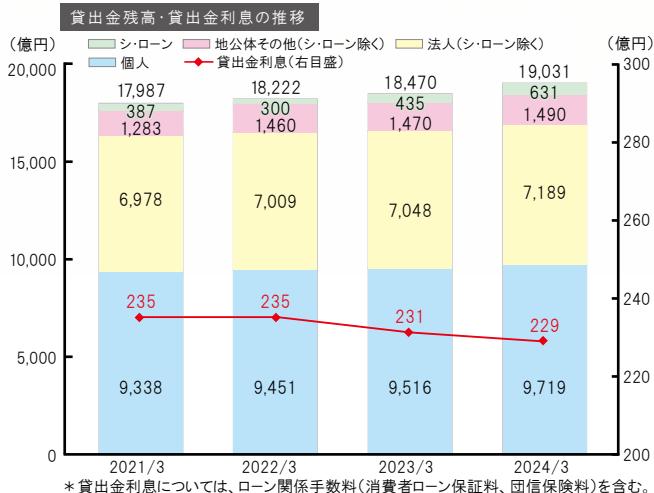
■ 預金等残高は法人預金・個人預金を中心に全人格で増加。



貸出金(単体)

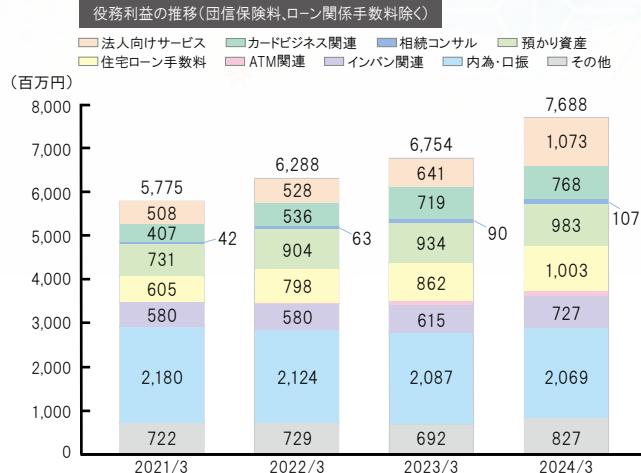
■貸出金残高は法人・個人・シジケートローンを中心に増加。貸出金利息はローン関係手数料を含んでおり、地銀協団信保険料の返戻がなかったことが主因で減少。

※ローン関係手数料を除いた場合、貸出金利息は前年比132百万円増加している。



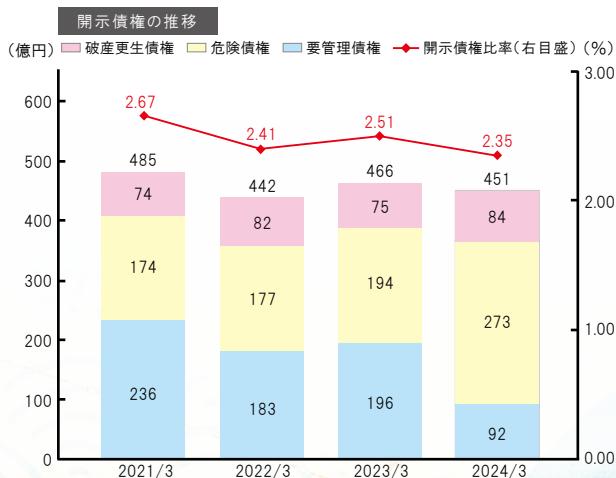
役務利益(単体)

■法人向けサービス手数料が大幅増加。重点3事業(法人向けサービス・カードビジネス・相続コンサル)の他、内為・口振を除く全ての項目で増加。



開示債権(単体)

■開示債権比率は前期比0.16ポイント改善。



自己資本比率(単体)

■単体自己資本比率は着実に上昇。



シンジゲートローン組成で沖縄県をはじめとする 日本国内観光市場の成長や地域経済活性化に寄与

2023年10月に「フォーシーズンズ・リゾート・アンド・プライベート・レジデンス沖縄(仮称、恩納村)」、2022年9月に北部テーマパーク(旧オリオン嵐山ゴルフ場跡地)「JUNGLIA/ジャングリア」のシンジゲートローンを組成いたしました。

本開発プロジェクトへの金融支援を行うことで、観光市場のさらなる成長や新たな雇用創出など、地域経済活性化に寄与することになり、持続可能な社会の実現につながるものと期待しています。

琉球銀行は、今後も多くの観光やホテル関連の案件で培った知識やノウハウを活用し、沖縄県内の地域金融機関や全国各地の地域金融機関と連携しながら、お客さまに柔軟で最適なファイナンスを提供するなど、事業支援を強化してまいります。

	フォーシーズンズ・リゾート・アンド・プライベート・レジデンス沖縄(仮称)	北部テーマパーク JUNGLIA/ ジャングリア
ローン組成時期	2023年10月	2022年9月
開発場所	恩納村	旧オリオン嵐山ゴルフ場跡地
共同アレンジャー	東京スター銀行	商工中金
参加金融機関	22金融機関 (TSUBASAアライアンスを含む)	13金融機関
開業予定	2027年春	2025年

「健康経営優良法人2024(ホワイト500)」の認定

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2024(ホワイト500)」に認定されました。

「健康経営優良法人」への認定は5年連続となり、今年度は、認定法人の中でも上位500社に付加されるホワイト500の取得となりました。

「健康経営優良法人認定制度」とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。琉球銀行では2019年6月に「健康経営宣言」を策定し、頭取を最高責任者とした推進体制のもと、琉球銀行健康保険組合と一体となって職員の健康保持・増進に積極的に取り組んでいます。



2024
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

サステナビリティへの取り組み

<最近の主な取り組み>

■ PRB (責任銀行原則) 署名

持続可能な開発目標 (SDGs) やパリ協定と整合した事業活動を銀行に促すことを目的に、国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI) が提唱する「責任銀行原則 (PRB=Principles for Responsible Banking)」に署名いたしました。なお、この原則に国内の地方銀行 (地方銀行グループ) が署名するのは琉球銀行が3番目となります。



「責任銀行原則」は、銀行と社会の持続的な発展を目指し、持続可能な開発目標 (SDGs) やパリ協定で示されている社会の目標に対し、ポジティブ・ネガティブ両面で重要なインパクトを及ぼし得る分野を特定しています。そうした分野に対する取り組みに沿った戦略・目標を設定・実行し、透明性のある開示を行うためのフレームワークです。

琉球銀行は、この署名を通じて持続可能な開発に向けた取り組みを一層強化し、お客さまやステークホルダーと協力しながら、沖縄から世界に向けてポジティブなメッセージを発信してまいります。

■ 国際的環境評価機関CDPにおける「A-」評価認定

環境評価の情報開示に国際的に取り組む非政府組織 (NGO) であるCDPから、気候変動に対する「目標設定」「行動」「透明性」などの取り組みが評価され、上位から2番目の「A-」評価に認定されました。昨年度の「B」評価から1ランクアップとなります。



CDPは国際的な非営利組織で、毎年、企業に「気候変動」、「水セキュリティ」、「フォレスト」に関する調査を実施し、その結果を8段階 (A、A-、B、B-、C、C-、D、D-) で評価しています。

琉球銀行は2022年度から引き続き、CDP気候変動質問書への自主回答を行い、「A-」評価に認定されました。琉球銀行では「気候変動リスクの把握と対策」をマテリアリティ (重要課題) の一つとして特定し、環境関連商品の提供や様々な企業との連携、事業活動におけるCO2排出量の削減などの取り組みを積極的に進めています。

■ ESGを勘案した投融資活動等

気候変動をはじめとした ESG 課題の解決に資する商品・サービスの取り扱いを拡大していきます。

法人のお客さま向け商品・サービス	<ul style="list-style-type: none">● 「SDGs 応援サービス」(取り組み状況の診断や宣言書発行など) によるSDGs への取り組みサポート● 「りゅうぎんSDGs ローン」による融資実行総額の0.10%相当分を世界遺産 (首里城復興、やんばる・西表島) の管理団体等へ寄付● 「りゅうぎん ECO POWER」(資金使途: 気候変動対策に資する設備資金) による融資金利優遇● 環境省「地域脱炭素融資促進利子補給事業」に基づく融資の取り扱い● りゅうぎんグリーンローン、りゅうぎんソーシャルローン、りゅうぎんサステナビリティ・リンク・ローンの取り扱い● 「J-クレジット運営管理業務」によるサービス等の提供
個人のお客さま向け商品・サービス	<ul style="list-style-type: none">● 投資信託「グローバル ESG バランスファンド」の信託報酬の一部を沖縄県が実施するSDGs 関連事業に寄付● 「ZEH」や「BELS」認定等を受けた物件を対象に住宅ローン・アパートローンの金利優遇。資金使途の拡大 (中古住宅・マンション取得資金、改装資金)
投資活動	<ul style="list-style-type: none">● 地球温暖化対策や再生可能エネルギーなど、環境保全に取り組む資金を調達するために発行されるグリーンボンドへの投資● 当行を含む沖縄県内企業で組成された琉球ファンド (運営: 株式会社琉球キャピタル) への参画・出資 (コロナ禍における資本支援を中心に円滑な事業承継や中長期的な事業拡大に資する県内企業への資金供給を担っている)● 「BOR ベンチャーファンド2号投資事業有限責任組合」(運営: 株式会社琉球キャピタル) の設立

サステナビリティへの取り組み

文化振興

りゅうぎん紅型デザインコンテスト／りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業



伝統文化支援事業として、毎年「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を開催しています。沖縄県の伝統工芸である紅型の技法を踏まえながら、紅型デザインの向上を図る「創造的な場」を紅型作家や愛好家に提供することを目的としています。

また、600年以上の歴史がある、漆芸の技術伝承を支援する「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」を実施しています。博物館や美術館に所蔵されているような、製作するにあたり高い技術が必要となる琉球漆器の複製を通して、沖縄県の伝統工芸である「琉球漆芸」の技術伝承や、産業継続の支援を目的としています。



りゅうぎん紅型デザインコンテスト



りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業



地域支援

りゅうぎんユイマール助成会／ 一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団



「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで財源をつくっています。地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、「一般公募助成金」や「子ども居場所づくりイベント事業助成金」など、これまでの助成件数・金額は、1,543件、2億5,630万円となりました。(2024年3月31日時点)

また、一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団では、返還義務のない奨学金を給付する「りゅうぎん海外留学支援事業」や国際化事業・活動に携わる団体へ助成金を交付する「助成事業」を行っています。



りゅうぎんユイマール助成会
(赤い羽根共同募金へ助成金贈呈)



りゅうぎんユイマール助成会
(子ども居場所づくりイベント事業助成金贈呈)



りゅうぎん国際化振興財団
(りゅうぎん海外留学支援事業)

第108期 単体財務諸表

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

単位:百万円

科目	金額
(資産の部)	
現金預け	341,129
コル口座	246
金銭の信託	522
有価証券	697,222
貸出金	1,903,134
外国為替	4,493
その他の資産	32,123
有形固定資産	32,944
無形固定資産	3,106
前払年金費用	1,359
繰延税金資産	3,620
支払承諾	12,043
支倒引当金	△4,637
資産の部合計	3,027,311
(負債の部)	
預渡性預金	2,801,171
債権借取用	49,365
外国的為替	27,676
その他の負債	55
賞与引当金	64
退職給付引当金	9,911
偶発損失引当金	667
再評価に係る繰延税金負債	10
支払承諾	139
	76
	1,940
	12,043
負債の部合計	2,903,123
(純資産の部)	
資本剰余金	56,967
資本準備金	12,906
その他の資本剰余金	12,840
利益剰余金	66
利益準備金	56,111
その他の利益剰余金	4,059
繰越利益剰余金	52,051
自己株式	52,051
	△1,417
株主資本合計	124,567
その他有価証券評価差額金	△1,239
土地再評価差額金	796
評価・換算差額等合計	△443
新株予約権	64
純資産の部合計	124,187
負債及び純資産の部合計	3,027,311

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

単位:百万円

科目	金額
経常収益	43,152
資金運用収益	29,154
(うち貸出金利息)	(25,978)
(うち有価証券利息配当金)	(3,024)
役員取引等収益	10,298
その他業務収益	327
その他経常収益	<u>3,372</u>
経常費用	36,258
資金調達費用	1,936
(うち預金利息)	(100)
役員取引等費用	5,615
その他業務費用	2,043
営業経費	25,676
その他経常費用	<u>986</u>
経常利益	6,894
特別利益	0
特別損失	<u>87</u>
税引前当期純利益	6,807
法人税、住民税及び事業税	1,535
法人税等調整額	<u>657</u>
法人税等合計	<u>2,193</u>
当期純利益	4,614

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第108期 連結財務諸表

連結貸借対照表

(2024年3月31日現在)

単位:百万円

科 目	金 額
(資産の部)	
現金	341,755
預金	246
有価証券	522
貸出	692,245
リース債権	1,881,946
その他有価証券	4,493
リース債権	26,192
その他有価証券	69,448
有形固定資産	36,110
建物	9,672
構築物	14,489
リース資産	31
その他有形固定資産	7,650
無形固定資産	4,267
ソフトウェア	3,307
リース資産	2,579
その他無形固定資産	116
退職給付に係る負債	5
退職給付引当金	605
延税引当金	1,705
延税引当金	4,569
倒産引当金	12,280
資産の部合計	△7,806
(負債の部)	
預借借入金	2,793,883
債券借入金	42,365
借入金	27,676
外国為替負債	19,271
賞与引当金	64
役員退給引当金	820
役員退給引当金	10
役員退給引当金	565
役員退給引当金	24
役員退給引当金	76
役員退給引当金	173
役員退給引当金	176
役員退給引当金	1,940
役員退給引当金	12,280
負債の部合計	2,924,453
(純資産の部)	
資本金	56,967
利益剰余金	14,244
利益剰余金	72,797
利益剰余金	△1,417
株主資本合計	142,590
その他有価証券評価差額金	△1,223
土地再評価差額金	796
退職給付に係る調整累計額	337
その他の包括利益累計額	△90
新株予約権	64
純資産の部合計	142,564
負債及び純資産の部合計	3,067,017

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	65,951
資金運用収益	29,297
貸出金利	26,126
有価証券利息	3,019
リース債権利息	9
預金の利息	135
その他の受入利息	6
役員報酬	12,587
その他有価証券	20,752
その他有価証券	3,314
貸倒引当金戻立	1,517
償却債権取立	254
その他経常収益	1,542
経常費用	57,499
資金調達費用	2,017
預借借入金利息	100
債券借入金利息	2
リース債権借入金利息	△0
リース債権借入金利息	1,834
借入金利息	78
その他有価証券	2
役員報酬	5,614
その他有価証券	20,296
その他有価証券	28,244
その他有価証券	1,326
その他有価証券	1,326
経常利益	8,452
特別利益	1
特別損失	90
特別損失	70
特別損失	20
税金等調整前当期純利益	8,363
法人税等調整額	2,156
法人税等調整額	555
法人税等調整額	2,712
当期純利益	5,651
親会社株主に帰属する当期純利益	5,651

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
当期純利益	5,651
その他有価証券	209
その他有価証券	△75
退職給付に係る調整額	284
包括利益	5,861
親会社株主に係る包括利益	5,861

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

取締役・監査役 株式のご案内

取締役

(2024年6月25日現在)

取締役会長 (代表取締役)	かわ かみ やすし 川 上 康
取締役頭取 (代表取締役)	しま ぶくろ けん 島 袋 健
専務取締役 (代表取締役)	きく ち たけし 菊 地 毅
常務取締役	ち ばな けん じ 知 花 健 二
常務取締役	と な き いく お 渡 名 喜 郁 夫
常務取締役	なか がわ みち お 中 川 通 男
取締役	ふ く やま まさ のり 譜 久 山 當 則
取締役	と み はら か な こ 富 原 加 奈 子
取締役	は な ざき まさ はる 花 崎 正 晴

監査役

常勤監査役	い とう かず み 伊 東 和 美
監査役	きた がわ ひろし 北 川 洋
監査役	くわ はら こう じ 桑 原 康 二
監査役	こ いけ ま ゆ み 小 池 真 由 美

(注) 取締役譜久山當則、取締役富原加奈子、取締役花崎正晴の3名は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

(注) 監査役北川洋、監査役桑原康二、監査役小池真由美の3名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。



常務 専務 会長 頭取 常務 常務
渡名喜 郁夫 菊地 毅 川上 康 島袋 健 知花 健二 中川 通男

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.ryugin.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞・沖縄タイムスおよび琉球新報に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

すべては 沖縄の ために。

私たちは、対話を大切にしています。
地域や企業の皆さまが

「困っていないか?」「何が必要か?」

ああでもない、こうでもない

議論し試行錯誤しながら日々向き合っています。

それがアイデアにかわり、

皆さまの力となることを信じているからです。

私もその一員。

これからも頼りにされる銀行であり続けるために
ながーいおつきあいの中で

行員たちと、地域と、すべてのお客様と対話を重ね
これからの沖縄を形づくっていききたいと思えます。



琉球銀行頭取

島袋健